
リハビリテーション天草病院だより

2015年10月

No. 76



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

高齢入所者に対する虐待問題

医療法人敬愛会 理事長 天草 大陸

乳幼児に対する虐待が社会問題になってから随分経ちますが一向に改まる気配はありません。最近では高齢者、特に、認知障害を持つ方（以下、認知症高齢者）への虐待が表面化し新聞やテレビ等で報道されています。埼玉県内でも、つい先頃、老人保健施設職員による利用者に対する身体的暴力行為が発覚し、家族の訴えにより当該職員が逮捕されたという報道がありました。私は、この乳幼児と認知症高齢者虐待の被害者や加害者には共通するものがあると思います。つまり、弱者と強者の関係です。被害者は当たり前ですが、理解力に乏しく、身体的にも弱く、抵抗力が殆どありません。一方、加害者は自分の意に従わない場合に爆発的に暴力を用いて威圧する、時に死に至らしめる場合さえあるのに、それを想定する能力のない言わば「病的」性格者と言わざるを得ません。「弱い者いじめ」はなかなか難しい問題です。虐待は家庭内だけではなく、特に、認知症高齢者では、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人保健施設等の施設内でも見受けられる時代になりました。

【虐待は身体的暴力だけではない】

私の見聞きしたことから推察すれば、施設内での認知症高齢者虐待は、身体的暴力に至る前兆として、かなりのケースで心理的暴力があると思われます。暴力行為の中には、当然のことながら、配慮に欠けた言葉による虐待など心理的な暴力も含まれます。例えば、排泄介助の際の「汚い、臭い」や介助依頼のために押すコールの頻回者への「またか」と

というような発言。更には、職員自身の投げやりな怒鳴り声など利用者や家族からみれば施設への信頼が揺らぎ、安心して任せられる施設ではないと烙印が押され、ひいては「この施設では、いつかは身体的暴力を引き起こすのではないか」との恐怖を抱いてしまいます。繰り返して申し上げますが、心理的虐待は身体的虐待の前兆です。従って、施設では心理的虐待を完全に排除しなくてはなりません。それには心理的虐待を止められない職員には「この職業は不向き」と説得する以外ありません。勿論、日頃から全職員に対しての「教育・指導」が絶対的大条件ではありますが。

【マスコミにも責任の一端はある】

「4歳息子殴り死なせる」と見出しがついた新聞記事。以前に子供が持病で入院していた時、その病院が児童相談所（以下、児相）に「体にあざや傷があり、虐待の可能性があると通報していたが、児相は一時保護などの措置を講じていなかったと児相を暗に批判。これが、もし児相が何らかの強制措置をし、痛ましい結果に至らなかった場合は、マスコミは親等の訴えにより、児相の「人権侵害・親権侵害」と騒ぎ立てたかもしれません。このような報道の在り方が、高齢者施設でも十分に当てはまり早目の対応を阻害しています。つまり、早目の手当が裏目に出ることになります。しかし、私は、心理的虐待の段階で、その芽を早々に摘んでしまうことが防止に繋がると確信しており、どんな批判を受けようとも、その職員には厳しい処分に対応する覚悟です。

病院で出会う人々に気持ちの良い接遇環境を

リハビリテーション天草病院 看護部長 荒井 さき子

看護部では平成27年度看護部目標の一つとして、「敬愛精神を向上させ、病院で出会う人々に気持ちの良い接遇環境を提供する」ことを挙げました。この目標に向かい、各病棟が接遇に対してそれぞれ下記のような取り組みを行なっております。

患者さん、あるいはご家族の方から、アンケートや投書を通じていただくご指摘は私どもの日々の言動の反省および職員の成長機会に繋がるため、むしろ大変ありがたく感じております。今後も、病院で出会う方々に気持ちの良い接遇環境と質の高いリハビリ看護を提供できるように努力して参る所存です。

【A病棟の取り組み 4つの行動宣言】

①私たちは忙しくなると気持ちに余裕がなくなり、対応や言葉遣いが厳しくなることがあります。患者様にとっては唯一頼れる1人のスタッフだということを忘れず、気持ちをコントロールしていくことを心掛けます。

②私たちはそのつもりがなくても、言葉や態度で患者様やご家族に誤解を与え気持ちを傷つけてしまうことがあります。日頃から表情や声のトーン、目線などに気をつけ相手を不快な気持ちにさせないよう心掛けていきます。

③私たちは患者様やご家族との対応で抱える悩みや躓きについて皆で共有し、振り返りや反省をする機会を設けていきます。

④私たちは日頃から患者様やご家族に対してはもちろん、職員同士でも、お互いが気持ちよく挨拶や声掛けが出来るよう、接遇・マナーの向上を目指していきます。

【B病棟の取り組み「接遇について」】

接遇について意識し合える職場づくりを目指しています。具体的には①相手を尊重し、敬意を持ち相手の立場になって話す②会話時は言葉や表情に注意し、目線を合わせ、相手の言いたいことを最後まで傾聴する③言葉使いは敬語、丁寧語を使う④相手の気持ち、行動を理解し思いやりの気持ちで接する⑤病院理念を理解し業務に取り組む⑥職員同士が接遇について意識し合う。以上に力を入れています。特に⑥については、病棟会時に患者満足度委員が中心となり、10分間倫理の勉強会をしています。倫理は難しい問題ですが、基本に立ち戻り、看護倫理について考えることも接遇に繋がる大切な機会と考えます。患者さんに対してはもちろん、病院で出会うすべての方がさわやかな印象を持っていただける接遇を心掛けて行きます。

【C病棟の接遇に対する取り組み】

①笑顔で対応、気持ちの良い挨拶を心掛けながら勤務に臨む。

②相手の性格、病識、理解力を踏まえた上で相手の気持ちや立場に立ち、会話をする。

③患者様と接するうえで日々の表情の変化を読み取り、話しやすい環境を整え不安な気持ちや訴えを傾聴する。

④患者様に敬意を払い、患者様が何を求め、何を望んでいるのかを察し、喜びや不安、痛みや苦しみを想像してその気持ちに寄り添い、応えるためのケアをしていく。

⑤日々の仕事のペース配分を考えて行動するよう心掛け、自分の気持ちに余裕を持って仕事に取り組む。

「初めての入院」

越谷市 堀越 公夫

それは突然にやって来ました。「まさか！」自分が入院生活をする事になる。生まれて初めての入院。70年間無縁のことでした。血圧が少し高めの私は自主管理のつもりで血圧計を腕に巻き始めた。その時、急に気分が悪くなり「吐気」と共に「呂律」が回らなくなり救急車をお願いしました。越谷市立病院に直行し幸い脳神経外科の先生がいらっしゃって手術が出来にくい「脳幹出血」で危うく“死”又は植物人間になるかもしれないというところでした。1ヶ月程して「リハビリテーション天草病院」に転院、リハビリで治すしかないということになり、まもなく3ヶ月を迎えるところです。転院当初の私は歩くことも言葉もままならない状態でした。生涯車椅子生活かもしれない、諦めかけていた私が天草病院に入院しビックリしました。

理学療法、作業療法、言語聴覚療法どれも専門の国家試験の合格資格を持つプロ技術集団。365日年中無休で指導を行い入院当日から治療開始、その光景を見ると誰もが圧倒されてしまい・・・「すごい！」の一言です。私も今ではゆっくりながらも歩けるようになりましたし、言葉もかなり良くなったと思います。日々、私がリハビリを受ける前後によく見ると私など未だ良い方で入院している患者の1/3程は歩行も困難な状態です。それでも自分で歩く訓練をしている。私も自分に甘えてなどいられない、更に頑張って努力するしかないと感じました。

天草病院での入院生活の中で特に感じましたことが2つありました。第一に、それは病

棟の看護師の皆様が余りに忙しく立ち振る舞っていることで声をかけるのも憚る程に走り回っていらっしゃる事です。“マザーテレーザ”と白衣の天使の世界を想像しておりましたが大変な違いです。患者の体調の把握から血圧、体温から食事のお世話、そしてお風呂のお世話までをされている・・・なかなか出来ることではありません。頭の下がる思いです。

第二に、前にも触れましたがリハビリ担当の技術者集団、患者一人一人に担当責任者が定められ、患者が回復し日常生活に戻ることが出来るように身につけた技術で治療する。それも3ヶ月位で出来ることを目標に！これは今の医療に日本だけでなく・・・絶対に必要となる・・・世界中から注目されるでありましょう！この事こそ「リハビリテーション天草病院」の言わんとする“質的向上”の一部であり他との差別力であり特色であると思います。

先の野球界、元巨人軍監督の長嶋さんも！角界の尾車親方も現在解説者を続けながらリハビリに励んでいる。そのリハビリのメニューはアスリートのトレーニング以上かもしれないことを知りました。そして、日夜更なる回復を目指して努力されているそうです。私にも出来ない訳はない、出来るはずだと己にムチ打つ毎日であります。私も1～2km位は付添のリハビリの先生同伴で歩けるようになり、更に良い歩き方を目指して努力している日々です。絶対に諦めないことを心に誓って！

(投稿日 平成27年3月17日)



「ドリームチームに感謝」

春日部市 徳丸 桂子

平成27年1月22日、姉が会社で電話中に呂律が回らなくなり机上に崩れました。幸い異変に気付いた同僚の方が救急車を迷わずに素早く呼んでくださり車で5分の病院に入院治療となりました。検査の結果、右脳橋出血で手術出来ない所なので薬物治療となり、リハビリで機能回復を目指す目標が出来ました。

命が助かりホッとしたのもつかの間で、姉にピッタリのリハビリ病院選びが始まりました。ハラハラしながら調べてもどの病院が良いのやらピンと来ない時に、別々の日に3人から天草病院は凄いらしいと教えてもらい自宅からも近く姉も家族も大喜びで天草病院に決めました。家族面接を受けて後日ベッドが空き次第入院出来ることになり安心しました。

天草病院への転院が決まり救急で運ばれた病院の理学療法士の先生に転院のことをお話した時に「その病院なら天才集団だから安心ですよ」と教えて頂きました。天才が集団で？とびっくりしましたが天草病院に入院してリハビリ訓練中に担当者がいくつか質問なさりながら確認するように身体に触れ強い力ではなく、撫でるでも摩るでもなくピッタリの言葉がありませんが、スルスル身体が緩むのを目にした時に天才集団という言葉の意味が分かりました。

担当の医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護士、病院にいらっしゃる全ての人が音楽を奏でるように患者や患者の関係者の勇気や元気、やる気を引き出して下さっているように感じる天草病院での149日間でした。この149日間で姉だけに特化した介助方法を習えたお陰で腰痛持ちの私でも安心して家庭介護をスタートすることがで

きました。退院後、1ヶ月は忙しすぎて楽しめていたかは不明ですが2ヶ月後の今は楽しく生活しています。(投稿日 平成27年9月28日)

「患者様からの声」

平成27年7月、糖尿病でかかりつけの病院近くの浅草橋で段差につまづき転んでしまった。周囲の人が手を貸してくれて椅子に座ったが痛みも増し歩けなくなってしまったので救急車を呼びました。これが私の入院生活の始まりでした。

私は手術が終わり、急に「あと2日後に退院をしてくれ」との言葉と共に車椅子の状態です。三井記念病院を退院した。天草病院に来た時は立つことも出来ず、立つリハビリにもかなりの労力を要していた。徐々に歩行器から杖に変わって、それが入院して1ヶ月半で杖歩行まで出来るようになったため、それはリハビリ専門病院として「365日リハビリ」の成果だと感じている。また、見舞いに来る友人たちも「良い病院だよ」「よく入れたね」と言われ、この病院に入院でき、非常に嬉しいと感じている。リハビリの先生方は個人の支援計画書があるのか分からないが、初めての人でも非常によくこちらの状態が分かっている。連携・チームで動いているのだと実感し助かっている。また、看護師の方は昼夜私たち患者の為に、一生懸命やってくれている。毎朝、毎晩、挨拶に来てくれると安心する。高熱を出した時に、夜中だったが迅速に対応してくれて感謝している。これから退院に向けて、家の中では杖を使わないくらいの身体で退院をしたいと思っている。先生方は大丈夫と言ってくれているため、ようやく入院生活の先が見えてきたと感じている。

(投稿日 平成27年9月28日)

リハビリテーション部 新入職員のご紹介

4月1日より、個性豊かな12名の新入職員がリハビリテーション部の仲間に加わりました。

理学療法士



八幡 亮です。ヤンチャと言われますが実は真面目です。よろしくお願いします！



河西 涼平です。自慢の大きな体を使って、パワフルに頑張ります！



佐々木 理人です。理学療法士の中で「理人(まさと)」と覚えて下さい！



澤田 直秀です。見た目以上に光り輝く存在になります！ よろしくお願ひします！



神田 美月です。皆さまに笑顔をお届けできるように頑張ります！



武田 千愛希です。長崎の九州男児っばいパワーと元気で頑張ります。

作業療法士



竹林 千晶です。東方神起のLIVEで地方飛びます。仕事も行動的に頑張ります！



河原木 大介です。河原に木が生えて自然豊かな名前なので自然体で頑張ります。

言語聴覚士



横島 悟です。まっ向勝負な男、さん張し易いですが、しん剣でまけん気強いです。



小山 健太です。北海道出身、コンサドーレに負けずに頑張ります。



山崎 未来です。新体操をやっていて体が柔らかいです。何事にも柔軟に頑張ります。



高松 紗由理です。広島出身カーブ女子。黒田投手のように男気満点で頑張ります。

リハビリテーション事業本部の職員は総数146名 となりました。

理学療法士 62名 作業療法士 56名 言語聴覚士 25名 リハビリ事務 3名

当施設と地域包括ケアとの関わり

介護老人保健施設シルバーケア敬愛 副施設長 高橋 昌

「地域包括ケア」とは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目標に、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが包括的に行われることを言います。

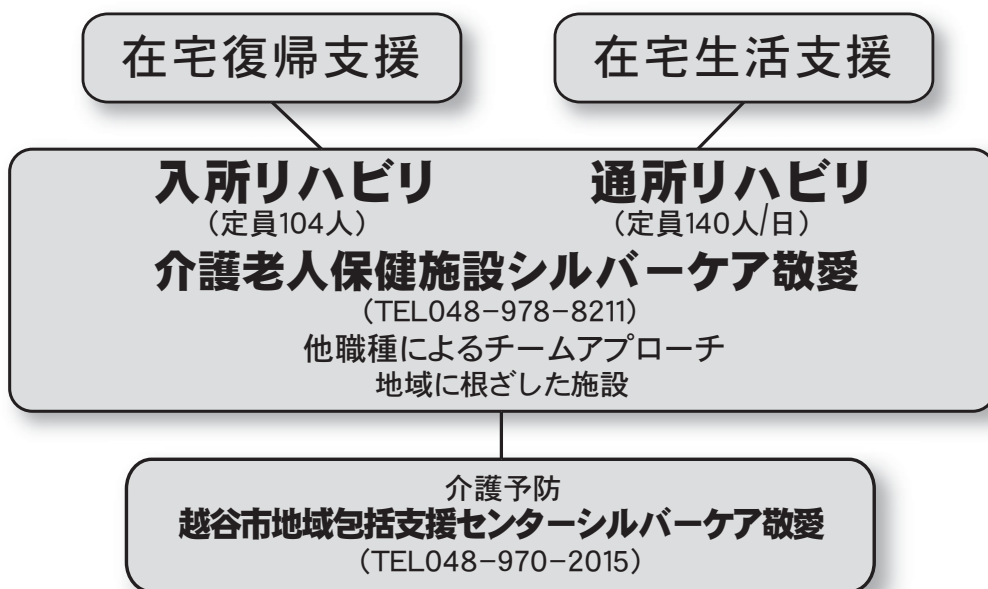
介護老人保健施設の理念は、①包括的ケアサービス施設（医師・看護師・介護福祉士・支援相談員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるチームアプローチ）、②維持期のリハビリテーション施設、③在宅復帰施設、④在宅生活支援施設、⑤地域に根ざした施設であり、まさに「地域包括ケア」の中心となる役割を担っています。実際に、介護老人保健施設シルバーケア敬愛においては、入所と通所リハビリテーションの充実及び「越谷市地域包括支援センター」との連携を図りながら、密接に「地域包括ケア」に関与しています。

入所においては、病院を退院した後や在宅生活継続の中で心身機能の低下が認められた場合に、短期間の介護老人保健施設入所で個別リハビリを強化して行い、在宅復帰・在宅生活が円滑に行えるように支援しています。

通所リハビリにおいては、在宅での心身機能や日常生活動作能力の維持・向上を図るため、個別リハビリ・マシントレーニング・集団体操・余暇活動を行い、自宅や社会での自立を促す支援を行っています。

その他に桜井地区の「越谷市地域包括支援センター」の職員と情報を共有し、地域の高齢者への運動指導や認知症予防のための助言を行い、介護予防にも関与しています。

今後も地域の高齢者・要介護者が安心して在宅生活を過ごせるように、介護老人保健施設としての役割を果たしてゆきたいと思っています。



編 集 手 帳

＊猛烈な暑さに続き、全国各地で台風の影響だけではなく突発的な風水害も発生し多大な被害をたらした今年の夏も残暑らしい日もなく終わりを告げました。犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。世界中でも異常気象で地球上は大荒れ模様です。

＊大荒れは気象だけではありません。ロシア軍によるクリミアの強奪、シリアなどでの戦争激化。中東を始め多くの国々でテロが多発し何千万人ものが奈落の底に追いやられ、特に「イスラム国」による虐殺犠牲者は数え切れません。北朝鮮や中国などでの「人権・言論弾圧」。これらのことを思いやる時「日本の平和や自由ほど尊いものはない」ことに気づかされます。日本の平和と繁栄は、先人達の卓越した努力によって保たれてきた、と言っても過言ではありません。決して「平和、平和」「戦争反対、戦争反対」と口先だけで唱えてきた人の力ではありません。先人の叡知の大功績に「日米安保条約」の締結があることは論を待ちません。これに異を唱える方は、空想的理想主義者か社会主義・共産主義信奉者であると私は常々思っております。

＊しかし、ここに来て日本の平和も、これま

での個別的自衛権だけでは怪しくなってきました。言うまでもなく、中国の「覇権主義」の台頭、実際に南シナ海を制圧化しつつあり、東シナ海では尖閣諸島を狙っております。また、北朝鮮の核開発による「挑発外交」は危険極まりありません。朝鮮半島からの「難民問題」も考えておく必要があると思います。このようなことと先に述べた中東情勢等を考えると、必然的に「集団的自衛権」を行使できる法改正が必要だった訳です。

＊この「集団的自衛権」に対して反対している国があります。共産党支配の中国は当然としても、何とお隣の韓国も中韓共闘して反発しています。韓国の朴大統領は先の国連総会で、北東アジア情勢に関し、「安保秩序に重大な影響を及ぼし地域諸国の憂慮を生んでいる」と演説しましたが、これは筋違いです。安保関連法は、日米同盟を進化し、北朝鮮の軍事的挑発を抑止するもので、韓国にも役立つことは明白ですし、中国の脅威に怯える他の国々は高く評価しています。朴氏は露骨に対中傾斜を強めています。この韓国の方針に日本の一部の大新聞やテレビ局も同調し安倍政権批判を煽っています。何が目的なのでしょう。分かりません。困ったものです。

(理事長 天草大陸)

表紙のこぼ

私がクラフトバンドのかご作りに出会ったのは、天草病院訪問看護師の上杉さんに教えていただいたことからです。以前から編み物や手芸が好きでしたが、病気で手のしびれや痛みで、動きが悪くなってしまったのでできなくなりましたが、このかご作りはその事も忘れてしまうくらい楽しくて夢中になってしまいました。色の組み合わせなどを考えても楽しいですし、またこのかごを人にプレゼントすると、とても喜んでくれるのがうれしくて、ついまた作ってしまいます。お菓子をいれてもいいですし、ちょっとしたお花などをいれても可愛いし、本当に毎日が楽しいです。

春日部市在住 重田 時子